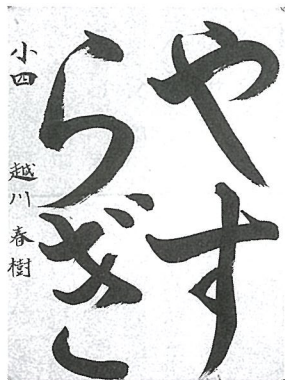




4年
越川 春樹くん

※何回も練習を
しました。
「ぎ」のつり
合いが難しか
ったです。

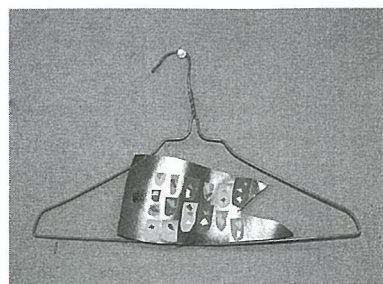


小四
越川
春樹



1年
佐久間佳代子さん

※ハンガーをうま
く使つてきれい
なかざりを作り
ました。



『つるすかざり』

あつまれ
みんなの
力作

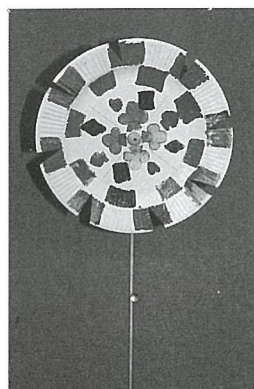


『木の顔』



5年
土屋 雅寛くん

※口や耳を作る
のに、木の皮
がはがれない
ように気をつ
けて作りまし
た。



『かざぐるま』



2年
鈴木 菜生さん

※かざぐるまを
回したとき、
きれいなもよ
うがでるよう
にくふつしま
した。



6年
大木 一訓くん

※真中の人の顔
を力強く重そ
うな表情に、
上の人を楽し
そうな顔に工
夫しました。



『組み体操をしている所』



3年
大木 健司くん

※人間が雲に乗
つていてここ
ろが、一番気
に入つていま
す。



『不思議なくつ』

南条
小学校



鈴木 都根 (橋場)
藻のかげに金魚つぶやく泡一つ
しゃれた機智が心をくすぐる。つ
ぶやく櫻貝、陶狸のおどけ顔など
作者の独壇場

山崎 てい (二又)
藻を縫つて小鮎と競ふ金魚かな
池中では金魚と鮎が追ひつ追われ
つの遊泳、梅雨晴れの一時の解放
感が伝わる

越川せつ子 (篠本)
朝刊を配る少年花ざくろ
新聞少年の健康そのものの肢体が、
鮮やかな朱色のさくろの花に象徴
されている

鈴木とし子 (宝米)
長梅雨にひとり騎れる草の丈
心の中まで薙びてくるような梅雨
の日々、雑草だけがわが世を謳歌
している

伊藤 幸枝 (尾垂)
わが胸に寝落ちたる児や合飲の花
しきりにぐずっていた児の体重が、
急に重くなり、あとけない寝顔を
見せている

短評 椎名しげる